

消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事故概要について】

1. 事故・ヒヤリハットの別	事故
2. 体験した事例の名称	斜めブリッジ救出時におけるアルククレーン転倒による負傷
3. 体験した事例の中心的要素	斜め展張ロープにブルージックで二次支点取り、展張時2次支点ロープが滑車に巻き込み倒れる。
4. 体験した事例の原因・理由	2時支点側ロープが展張時に滑車に巻き込まれたため、滑車が回転出来ずクレーンが展張側に転倒。

【体験した事例の直接的な原因について】

1. 体験した事例の直接的な原因	情報入力に問題があった。
------------------	--------------

【体験した事例について】

1. 発生日時	平成26年11月10日 午前10時頃
2. 発生した当時の天候	晴れ
3. 発生した活動現場	屋外：2階屋上
4. 体験した事例の種類	回答者が、自分自身で負傷した。
5. 事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度）	軽傷の怪我
6. どのようなことが起きたのか（起きそうになったのか）	その他：クレーンの転倒による頭部及び肩の負傷
7. 事例体験時の活動	演習訓練、[救助（通常時）]
8. （7の活動中）どのような作業中に発生したか	高所救助訓練
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）

○当事者A	年齢[30]歳、勤続年数[6]年、現場経験年数[5] 年、階級[消防士] 同様の活動 [過去に1,2回程]、任務 [隊員]
○当事者B	年齢[28]歳、勤続年数[5]年、現場経験年数[4] 年、階級[消防士] 同様の活動 [], 任務 [隊員]
○当事者C	年齢[28]歳、勤続年数[5]年、現場経験年数[4] 年、階級[消防士] 同様の活動 [], 任務 [隊員]
○その他(当事者が4人以上の場合)	

11. 事例発生時の経過。

	誰が(何が)	なにをした	その他・備考など
経過1	隊員ABC	3連梯子使用、2階屋上侵入	
経過2	機関員D	2階屋上に救命銃でロープ展張	
経過3	隊員ABC	屋上支点確保、斜め救出ロープ設定	
経過4	隊員ABC	要救助者用タンカを展張ロープ結着	
経過5	隊員ABC	展張ロープにアルククレーン設置	
経過6	機関員D	展張ロープを車両ウンチで牽引	
経過7	隊員A	展張ロープが滑車に巻き込みクレーン転倒	
経過8	隊員A	アルククレーン転倒により頭部及び肩の負傷	
経過9			
経過10			
経過11			
経過12			

【その事例発生時の状況について】

○事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思うか？

○ヒヤリハットの場合 : ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

危険情報を把握、予見できなかった。周囲の視界が確保できていなかった。指揮者が適切に指示しなかった。後方からの監視が行き届いていなかった。他隊(員)との連携活動がうまくいかなかった。他隊(員)から適切な注意を受けられなかった。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	いいえ
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	いいえ
・活動終息(鎮火等)や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	はい
・活動に対する経験が不足していた。	はい

d. 心身の不調があった。

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった（寒かった）。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

・活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。）	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。）	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	はい
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

--

【事故発生後の取り組みについて】



○注意力欠如、焦り等の対策について

救出開始前に再度結索等の確認及び指揮者等による安全管理徹底

○装備・資機材の対策について

使用資機材の利点、欠点の再確認、使用資機材の再確認

○活動環境の対策について

訓練時において指揮者及び安全確認管理者を配置し訓練を実施

○指揮・情報伝達の対策について

指揮者においては、各隊員間と密に連絡を取り訓練及び災害現場に臨む。

斜め救出訓練時におけるクレーン転倒による状況図

